

令和 6 年 度
宮崎国際大学 教育学部
総合型選抜 (第 1 回)

試 験 問 題
【小 論 文】

受 験 番 号
氏 名

問題

次の文章は、科学者である仲野^{なかのとおる}徹さんが、中高生に向けて行った講義の一部です。仲野さんは、科学的に考える上でどのようなことが重要だと述べていますか。またその中で、あなたが教育の場においても生かせると思う考え方について、その理由も含め600字以内で述べなさい。

科学的に考える上で最も重要なことはなんでしょうか。それは、「健全な好奇心をもって疑う」ことだと考えています。健全な好奇心は科学にとって何より大事ですし、普段の生活においても非常に大切です。なにかを言われたからといって、本当のことだと思い込まない。でも、これはバランスが難しく、あまり疑いすぎると性格が悪くなります（笑）。

しかし、科学でさえ、これまでの説が正しいとは限らない。パラダイムが転換したり、反証によってひっくり返ってしまったりする。科学でさえそうなのですから、実生活ではさらに沢山そういったことがあります。そこで大切なのは人とちょっと違う考え方をすることの重要性です。

ビタミンCの発見でノーベル賞を取ったハンガリー人のセント＝ジェルジ・アルベルトが発見について格言を残しています。発見とはなにか。「誰もが見たことがあるものをじっくりと見据えて、誰も考えたことのない事を考えてみる事」だということです。みんなが同じように見ているものを、違う見方で考える。そうすることが発見の近道です。

つぎは、できるだけ単純に考えること。複雑な現象に出会ったときにさまざまな単位に分けて考えることが大事です。

日々悩んでいることがあれば、何を悩んでいるのかを箇条書きにしていき、ひとつひとつをどう解決するかを考えたほうが早い。物事はできるだけ、要素に分けて考えることが大切です。

科学の仮説は立てられた時点では正しいかどうか、わかりません。それならば、より単純に考えたほうがいいだろう。基本的な物事はできるだけ単純に割り切っていきましょうというのが科学の基本的な態度です。

つぎに、同じ興味を持っている人と話し合うことが科学的思考には欠かせません。自分の頭だけで考えていては限界があります。まず皆さんには、ぜひ文章を書く癖をつけてほしい。頭で考えているとなんとなく正しいように思えることでも、文章にしてみると理屈が通っていない場合はよくあります。文章にすることで論理的思考が身に付いていくのです。

そのうえで、他の人と話し合うことで、自分の考えを整理していくことができます。生徒が先生と話していると、先生から教えてもらっているかのように思えますが、じつは違う。対話は、一方的に教えてもらうのではなく、自分の考えを整理していくことなのです。

これができたら、さまざまな情報を元に自分で考えて自分なりの意見を出すことができ

るようになる。「あいつはよく考えを変える」と悪口を言う人がいますが、それは間違っている。私は一貫性のある人のほうが、むしろ頭が悪いと思います。

人と話し合っ少しづつ良くしていく、より高いレベルにしていく。考えが一貫して変化しないよりも、そうして変化していくことのほうが大切だと思います。そのためには、専門であろうが、専門外であろうが自分の頭で考えて自分の言葉で話すことができなければ、人と対話することさえできません。

科学も、結局は人の営みなのです。科学の考え方は特殊だと思われがちですが、そんなことはない。普段の生活に応用可能なことがたくさんあります。

(仲野徹「科学とはなにか？」による・一部省略がある)